

試験回数及び必要となる試験試料数量並びに要求特性及び適合条件

防災性能	試験規格	試験回数		要求特性	適合条件
高難燃性	JIS C 3521 IEEE 383 74	2	1 試験当たり 2.4m×(n+1)本 (n 数は試験規格より求めた本数)	シース炭化がトレイ 上端まで達しないこと	● 2 回の試験いずれもが要求特性を満足した場合
	IEEE1202	2 又は 4		シース炭化長が 1.5m を超えないこと	● 最初の 2 回の試験いずれもが要求特性を満足した場合 ● 最初の 2 回の試験のうち 1 回が要求特性を満足しなかった場合 で、更に 2 回の試験を実施し、いずれの試験も要求特性を満足し た場合
	IEC 60332-3	1 又は 3	1 試験当たり 3.5m×(n+1)本 (n 数は試験規格より求めた本数)	シース炭化長が 2.5m を超えないこと	● 最初の 1 回の試験が要求特性を満足した場合 ● 最初の試験が要求特性を満足しなかった場合で、更に 2 回の試 験を実施し、いずれの試験も要求特性を満足した場合
発煙性	JIS C 60695-6-31	3 又は 6 ^{注1)}	絶縁及びシース材料について、同一の材 料で作成した 75mm×75mm× 0.5mm のシート各 6 枚 (同時に申請する型式のものと使用してい る材料が同一である場合は、提出不要)	Ds Max が 150 を 超えないこと	● 最初の 3 回の試験いずれもが要求特性を満足した場合 ● 最初の 3 回の試験のうちいずれかが要求特性を満足しなかった場 合で更に 3 回の試験を実施し、6 回の試験の平均値が要求特性 を満足した場合
	IEC61034-2	1 又は 3	1 試験当たり 1.0m×(n+1)本 (n 数は試験規格より求めた本数)	最小透過率が 60% を下回らないこと	● 最初の 1 回の試験が要求特性を満足した場合 ● 最初の試験が要求特性を満足しなかった場合で、更に 2 回の 試験を実施し、いずれの試験も要求特性を満足した場合
燃烧ガス 酸性度	JIS C 3666-2	2 ^{注1)}	1.0m×1 本	酸性度：pH4.3 を 下回らないこと	● 2 回の試験のいずれもが要求特性を満足した場合
	IEC60754-2	3 又は 6 ^{注1)}	又はケーブルを構成する全ての可燃材料 と同一の材料(ペレット等)各 10g (高難燃性試験と同時申請の場合は、 提出不要 同時に申請する型式のものと使用してい る材料が同一である場合は、提出不要)	導電率：10 μ S/mm を超えないこ と	● IEC 60754-2 8.1 項に従って評価し試験結果が、要求特性を 満足した場合

注1) 1 材料あたりの試験回数